

『国民年金』 いよいよ20歳からスタート!!

成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

20歳になると、成人として多くの権利が認められますが、また同時に新たな責任も加わります。国民年金に加入するのもその一つです。

国民年金は、年をとったときや病気やケガで障害者になったとき、一家の柱をなくした時に所得の保障をして生活を守ってくれる制度です。

“20歳になったあなた” 国民年金に加入して大人の仲間入りです。

こんな制度があります ～学生納付特例制度・若年者納付猶予制度・申請免除～

学生やフリーターなどで、収入がなく保険料の納付が困難な場合、**本人・配偶者の所得**が一定以下の場合は、申請により保険料を後払いにできる制度があります。(若年者納付猶予制度を申請できるのは、20歳代の方に限ります。)

この期間は年金受給資格期間にはなりますが、納めなければ老後の年金額の計算には入りません。後から納めて老後の年金を満額に近づけましょう。

そのほか、**本人・配偶者・世帯主の所得**が一定以下の場合は、申請により保険料が全額免除・半額免除になります。免除を受けた期間は、老後の年金額の計算に全額免除の1/3、半額免除の2/3の期間が算入されます。

申請受付は、役場住民課国保年金係で行います。

※問い合わせ先 千葉社会保険事務所 ☎043-242-6327
住民課国保年金係 ☎82-8814

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

団欒や四角い炬燵に明るい輪
消し炭のやわきぬくもり懐かしく

桑名 大行

枯露柿のすだれ重なる甲州路

温もりと優しさに会う囲炉裏端

長谷川正子

ちびりちびり沢庵着に炬燵中

暮早し父の雷忍び足

今関満喜子

農機具の忙しく動く師走空

田圃行く煙の行方師走中

福田 幸子

紅葉をさがし求めて草津越え

なんとなく心忙しき年の暮

若梅あやめ

初霜や脛出して過ぐ小学生

芒野に塵線伸びゆく無人駅

玉虫 栗扇

夫に從く小走りの道暮れ早し

昔話子らに語るや置炬燵

藤代 ゆう

ひこばえ俳句会 (互選句)

お喋りは猫を相手の日向ぼこ

浅野 茂子

寄する漕去る波重き冬岬

池田 逸子

土手に添ふ風癖つきし枯尾花

伊藤 敬子

海はたる巨船出て行く夕時雨

川島 孝夫

江戸日和新宿御苑の菊薫る

向後 寛

対岸もにぎり飯らし秋うらら

佐瀬 輝夫

われもこう尾瀬山小屋に別れきて

穴倉 道子

桜大樹紅葉枝張る休み茶屋

布施 和代

東京湾横断道路初時雨

渡部 和秋

ホテルにて食事する吾のそば近く

太平洋の漕が寄せくる

上総 晴子

通学路のわだちに残る水溜まり

児等遊びしかいたく濁れり

永藤 滋

弘前城の桜紅葉の一片添へ

旅の土産と嫁の持ち来ぬ

吉岡 信子

草津なる西の河原の浴場に

憂き世忘れて浸りあるなり

池田 春江

野に咲ける花の美し見上げたる

雲の真白き故里に来ぬ

佐瀬 初音

「面あり」と声の聞こへつ我が打ちし

竹刀の先を見すゑしままに

西山満里子

空き地より背高泡立草手折りきて

きれいと言ひて幼かざしぬ

田崎 尚美

青空に幾百の羽煌かせ

赤とんぼ飛ぶ午後の日だまり

八角 三枝

吾の心見透すさまに仁王尊

玉眼開き見下し給ふ

芹川 初子

木の鉢に付きしそば粉も無駄にせず

捏ねてゆくなり職人さんは

押尾 輝子

鴉ヶ峰と呼ぶるる山は紅葉し

さながら鴉の飛ぶがに見ゆる

長谷川正子

狭き家走り廻りて家事こなす

掃除・洗濯と出社の前を

島田ますみ

高齢者に町より賜ひし金券で

動作の楽な噴霧器買ひぬ

鈴木 やす

抜きてゆくかたばみの実は幽かなる

音たて我の頬を打ちたり

選者 斎藤つね子

短歌